

令和元年度事業報告書

～地域とともにあゆむ～

社会福祉法人 敬愛会

目 次

1、事業報告概要

(ア) 実施事業

(イ) 役職員配置状況

(ウ) 法人内有資格者一覧

2、事業報告

(ア) 本部

(イ) 総務部

(ウ) 広域介護事業部

(エ) 在宅介護事業部

(オ) 看護部

(カ) 地域包括支援センター

(キ) 地域共生創造事業部

令和元年度事業所別業務への取り組み

3、令和元年度利用実績状況

1、事業報告概要

～「つながりをチカラに」私たちは地域に愛される法人を目指します～

はじめに

昨年、新天皇が即位され、平成から令和へ新しい時代が幕を開けました。令和という元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という願いが込められております。しかしながら振り返りますと、全国各地で大きな災害に見舞われ、特に那須烏山市においても台風19号とそれに引き続く大雨により未曾有の被害を受けました。また、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大と全く経験のない緊急の事態が続いております。社会福祉法人が事業を継続経営するにあたりその弊害となる内外環境変化（災害・虐待・資金トラブルなどの経営難・人材確保不足）に対し、それを事前に予測、予防し、不測の事態に陥った場合においても冷静、且つ法人の社会的信用を損なうことがないようなBCP（事業継続計画）、BCM（事業継続マネジメント）を整備し、さらに必要な訓練を定期的に行い地域のセーフティネットとしての役割を果たしたいと考えております。那須烏山市地域福祉計画ならびに高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画において重点課題として「地域包括ケアシステムの深化、推進」、「地域共生社会の実現」が掲げられ、深刻な介護人材不足等の各種経営課題に加え、社会福祉法人としての役割がより地域から期待される内容となっており、当会としても今後の施設運営に生かしてまいりたいと思っております。さて、当会において昨年は特養の近隣施設の増加などに伴い、在宅サービスの年間稼働率も思うように伸びず在宅介護部門においては、結果として当初の見込み通りの収入増は達成できませんでした。また、令和元年7月に事業開始となった障害者福祉事業においても利用者獲得等改めて市場競争に打ち勝つ競争力の必要性を感じる結果となりました。一部老朽化している施設における修繕費用の増大に伴い適切な積立および資産運用を行い、強い財務基盤の構築が必要と考えます。これらに対する本会としての取り組みの柱は、基幹事業の強化を軸とした経営基盤の安定、そして高齢者介護以外の総合福祉事業法人としての拡大を通して地域共生社会の実現に近づけたいと考えます。高齢化率ならびに高齢者数のピークを迎える本市の高齢者福祉事業において、これらのパイの取り合いのみに集中するだけでなく、全ての福祉事業を幅広くカバーし、人口動態の変化による経営リスクを最大限低減させ、かつ地域共生社会の実現に向け攻めの姿勢を貫いていきたいと考えております。本会は「Break through」を行動スローガンに事業計画策定時において定めた4つの課題について以下のような取組を行いました。

(1) 消費税増税に対する対応

2019年10月に実施された消費税増税に伴う介護報酬の改定は、平均【介護報酬】0.39%増（処遇改善1.67%増、消費税対応0.39%増、補足給付0.06%）【障害福祉サービス】0.44%増という改定でありました。介護職員等特定処遇改善加算を除き10月実施予定の消費税への対応分として実施されたものであり、1,000億円程度を投じて新設した介護職員等特定処遇改善加算も、介護をめぐる厳しい経営状況を改善して雇用を改善するには不十分であったと考えます。職員の処遇改善を目的とした「介護職員等特定処遇改善加算」に対する対応により介護職不足を解決するために、介護職を目指す人を増やすだけではなく、今働いている人の定着率を上げる必要性、介護職の給料アップややりがいの持てる職場づくりを促進する配分を致しました。また、既存の購買に係るオペレーションシステムの評価を行い、消耗品等の一括購入を行い、損税リスクの低減に努めました。結果マスク、消毒薬等新型コロナウイルス感染予防対策に功を奏しました。

(2) 働き方改革への対応と最適化労働への積極的な支援

働き方改革への対応として、同一労働同一賃金制度が2020年4月から適用されます。この制度を活かしキャリアアップや活躍の場の拡大につなげ、非正規社員の仕事へのやりがいを増やし、雇用形態にかかわらず職員にスキルアップの機会を与えることで、職員の潜在的な能力を引き出す可能性を高めるよう法人内での説明会の実施を致しました。また、様々な家庭環境、生活スタイルを有している職員一人ひとりが、公平かつワークライフバランスが可能となるよう改正に伴い見直しが必要となったキャリアパスの再構築を行なっております。インターネットによる出勤確認方式（タッチオンタイム）への移行、時間の有効活用、懸念される労働力及び生産性の減少を解消するだけでなく、業務が整理整頓、最適化されたものになるよう、また従業員の健康やコンプライアンスを守り、労働力の減少影響に反する生産性の向上に向けICT技術を用いた労働管理体制へと移行させました。少数精鋭の実現をめざし取り組んでおります。

(3) 新規整備事業「リエゾンコミュニティラボ」の事業開始

令和元年7月より新たに総合的ふくしの拠点として位置づけた地域共生社会創造事業部の行う主な事業であるリエゾンコミュニティラボは当会が培った地域とのネットワークをこの拠点に集約させ、一方的な発信だけでなく、地域からの情報を受け、必要な場合にはそれらをつなぐ役割としての活動として那須烏山市、一般社団法人スリーアクトと「栃木県の女性のためのワクワク講座&交流会」を開催致しました。今後も利用者を獲得、事業拡大し、この地域らしい共生社会の

実現を目指します。

(4) さまざまなリスクに対する事業継続計画の策定及び実施

本年度は台風19号被害、新型コロナウイルス感染拡大等全国的にみても非常に災害の多い年でありました。当会としては事業継続計画（BCP）を策定し、災害発生時における速やかな非難だけでなく、スピーディーな事業復旧を目指し、経営基盤を直ちに立て直すとともに、地域に向けた災害時福祉避難所の開設が可能な状態を作れるよう体制を整え刻々と変化する変化に柔軟に対応致しました。また、例年開催している本会主催の地域シンポジウムにおいては、「住活～笑顔で繋がるナスカラの輪～笑顔あふれるまちづくりへの挑戦」として行政機関などと議論できる場を設け、地域社会に対する福祉施設としての役割を示すことができました。

(ア) 実施事業

第1種社会福祉事業	
特別養護老人ホーム敬愛荘の設置経営	定員80名
特別養護老人ホームてんまりの杜の設置経営	定員29名
第2種社会福祉事業	
短期入所生活介護事業の実施（特別養護老人ホーム敬愛荘）	定員15名
デイサービスセンター事業の実施（特別養護老人ホーム敬愛荘）	定員30名
居宅介護支援事業の実施（敬愛荘在宅介護支援センター）	
グループホームさらいの設置経営	定員18名
認知症対応通所介護事業の実施（グループホームさらい）	定員6名
小規模多機能ホームなごみの設置経営	定員29名
事業所内保育施設みらいのK a z e 保育園の設置経営	定員10名
デイサービス事業JOYSフィットネスクラブの設置経営	定員19名
就労継続支援B型事業bistro perle de beautéの設置経営	定員20名
児童発達支援空と虹のなーさりいの設置経営	定員10名
放課後等デイサービス空と虹のアフタースクールの設置経営	定員10名

(イ) 役職員配置状況（等級別）

理事	6	理事長1名 常務理事1名（常勤）
評議員	7	

監 事	2	
-----	---	--

	常 勤	常勤 (兼務)	パート	計(名)
理事長 1名 (統括施設長兼務)		1		1
本部				
事務局長	1			1
課長級職員	1			1
主任級職員	1			1
合 計	3			3
総務部				
課長級職員	1			1
主任級職員	1			1
一般職員	2		1	3
合 計	4		1	5
特別養護老人ホーム敬愛荘				
施設長級職員		1		1
部長級職員	1			1
課長級職員	1			1
主任級職員	5			5
一般職員	32		10	42
合 計	39	2	10	51
特別養護老人ホームてんまりの杜				
常務理事 (みらいのK a z e 保育園長兼務)		1		1
課長級職員	1			1
主任級職員	3			3
一般職員	11	1	4	16
合 計	15	2	4	21
グループホームさらい				
部長級職員	1			1
主任級職員	2			2
一般職員	10		3	13
合 計	13		3	16

小規模多機能ホームなごみ				
課長級職員	1			1
主任級職員	1			1
一般職員	5	1	5	11
合 計	7	1	5	13
事業所内保育施設				
みらいのK a z e 保育園				
園長		1		1
主任級職員	1			1
一般職員	4		2	6
合 計	5	1	2	8
敬愛荘在宅介護支援センター				
主任級職員		1		1
一般職員	2		1	4
合 計	2	1	1	5
那須烏山市地域包括支援センターからすやま				
センター長級職員	1			1
一般職員	2	1		3
合 計	3	1		4
リエゾンコミュニティラボ				
課長級職員	1			1
J O Y S フィットネスクラブ				
主任級職員	1			1
一般職員	3			3
bistro perle de beauté				
主任級職員	1			1
一般職員	2			2
空と虹のなーさりい				
空と虹のアフタースクール				
主任級職員	1			1
一般職員	3			3
合 計	12			12
法人合計	103	9	26	138

男女比率 男性 33% 女性 67%	平均年齢 46.0才
平均在籍期間	9年6カ月

(ウ) 法人内有資格者一覧

介護福祉士	50名
社会福祉士	1名
社会福祉主事	20名
介護支援専門員	12名
介護福祉士実習指導者研修修了者	2名
ユニット施設管理者研修修了者	1名
ユニットリーダー研修修了者	6名
認知症介護管理者研修修了者	9名
認知症介護実践研修修了者	13名
看護師	3名
准看護師	8名
管理栄養士	1名
栄養士	2名
保育士（現業）	11名
衛生管理者	2名
言語聴覚士	1名
理学療法士	1名

2、事業報告

(ア) 本部

(1) 事業管理

- ・ 理事会の議案及び日程の調整、議事録の作成
- ・ ISO 維持審査委託契約 10月
- ・ 多職種連携県外研修上期参加者 6名／下期参加者 6名
- ・ イルミネーション屋外装飾実施（敬愛荘）開催期間12月～3月
- ・ 体験バスツアー企画 8月

(2) 人事管理

求人活動実施報告

就職面談会参加	面談者数	応募者数	採用者数
16カ所	34名	54名	36名

(3) 財務管理

- ・ 計算書類の公開／現況報告書／役員報酬基準の公開
- ・ 社会福祉充実残額の明確化
- ・ 会計業務、施設ごとや法人全体の財務指標の作成、経営分析

(4) 新規事業

- ・ 共生型多機能事業所新築工事引き渡し
- ・ 共生型多機能事業所リエゾンコミュニティラボ内覧会

(5) 公益的取組み

いちごハートねっと推進協議会	5月14日
烏山学開催	6月6日、10月31日
第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会	9月26日～27日
出前講座（烏山中学校）	11月7日
介護の日フェスティバル in けんちょう	11月9日
食育セミナー	11月19日
全国老人福祉施設大会（茨城大会）	11月20日～21日
地域シンポジウム開催	2月1日

地域シンポジウム



介護の日フェスティバル



◎令和元年度 ふくし応援し隊&CROW カフェ実施報告

毎月第3木曜日11時30分から、敬愛会機能訓練指導員（印南）を講師として講座や体操を行い、12時30分から敬愛会栄養士（峰崎）が栄養バランスを考えたワンコインランチの提供を、駅前ひろばタッチにて実施致しました。（但し8月についてはお盆期間中により未実施）。今年度は「春夏秋冬の季節感を感じられる」をテーマにリハビリでは嚥下体操で行っている合唱の曲を毎回それぞれの季節に合わせて選曲し、栄養士が考えたワンコインランチでも、旬の生鮮食材を使用し美味しく健康的な食事の提供を行いました。

実施日	ふくし応援し隊	CROW カフェ	参加人数
4月 18日	春の健康対策	竹の子とあさりの炊き込みご飯 他	7名
5月 16日	熱中症対策	春キャベツ しらすのチャーハン他	7名
6月 20日	お口の健康	サラダうどん他	7名

7月 18日	肩こり解消ストレッチ	キーマカレー他	7名
9月 19日	血圧を学ぼう	赤飯 しめ玉子のすまし汁	9名
11月 21日	膝痛について	鮭の炊き込みご飯他	8名
12月 19日	認知症予防	ポークケチャップライス他	7名
1月 16日	ロコモ体操	うどん蕎麦合い盛りつけ汁3種 他	8名
2月 20日	お口のケア	ぶりの照り焼き山椒焼き他	8名
(合計)			68名

ふくし応援し隊の風景



(イ) 総務部

総務部は「法改正等の変化に対応する体制づくりを行うとともに、一人一人の制度内容の十分な理解と業務生産性の向上を目指す」を年間目標に掲げ、研修実施、業務見直しを行うことで職員の意識向上や業務改革に努めて参りました。その成果としまして、ICT機器の管理方法の見直しにより業務時間の削減に繋がりました。また、業務体制やミス発生時の情報共有を行う事でチェック体制の強化やミスの減少、発生時の対応力向上に繋がりました。今後は、繁忙期の業務連携体制の構築や担当不在時に対応できる業務幅の広い職員育成に努めていきたいと思えます。

◎総務課・雇用推進相談室

- (1) 働き方改革関連法に関する説明会の実施、情報発信
- (2) 有給休暇電子管理化の実施
- (3) 医療費口座振替移行による業務省力化
- (4) 未収金ゼロを目指した情報発信、対応の強化
- (5) 業務見直しによる体制強化
- (6) WEB 面会の実施
- (7) 各イベントのサポート

◎栄養課

- (1) 多職種連携による情報共有を行い個別の栄養計画書の作成、実施
- (2) ご利用者、施設職員の健康管理と相談
- (3) 摂食機能別の補助食品の使用
- (4) 園児の食育のため和食を中心としつつ、喜ばれる献立の立案と提供
- (5) 各行事での食事提供の協力

◎こども課

4月

- ・入園式
- ・園だより（※毎月初日発行）法人と深いつながりのある有識者にコラムを依頼、リレー形式にて掲載
- ・みどり幼稚園交流会（※毎月1回実施※12月～3月感染症予防の為自粛）
- ・誕生会（※毎月開催）
- ・避難訓練（※毎月1回開催）

5月

- ・新元号の施行に合わせ「にじいろ保育園」を「みらいのK a z e 保育園」の新名称に変更して5月1日より運営

- ・第1回内科検診実施

- ・第1回保育参観実施

6月

- ・第1回歯科検診実施

7月

- ・プール開き

- ・夕涼み会開催

9月

- ・敬老会参加

10月

- ・みどり幼稚園合同運動会

- ・第2回内科検診実施

11月

- ・第2回保育参観

- ・食育教室開催（※那須烏山市こども課管理栄養士による）

- ・第三者評価受審（栃木県社会福祉士会より3名）

12月

- ・クリスマス会

- ・餅つき参加

1月

- ・第2回歯科健診実施

2月

- ・個人面談開催

- ・豆まき

3月

- ・お別れ遠足

- ・新入園児、進級時向け保護者説明会開催

- ・卒園式



みどり幼稚園合同運動会



「鳥山学」の学生さん達と交流会

(ウ) 広域介護事業部

(1) ICT・IOT機器活用による生活の質改善

眠りスキャンについては、リアルタイムのデータで心拍や呼吸の状態が把握できるため、急変時の早期対応や職員の不安を減らすことが出来ました。また、歩行を繰り返す入居者様が多くなってきていることもあり、GPS端末とNTT簡易位置情報サービスを利用したシステムを導入することで、戸外に行かれた際に位置情報を素早く検索できるようにしました。GPS端末を利用し未然に事件事故を防ぐ対策を講じることで、入居者様が安心して生活出来るように致しました。



(2) 褥瘡予防に対する取り組み

ブレデンスケールをベースとした褥瘡基準を活用し、リスク者の選定をおこないユニット内で早期に皮膚状態の観察と情報の共有にて有効的な予防対策が出来ます。

また、福祉用具ではスライディングボード、スライディングシート、スライディ

ンググローブ、モジュール型の車椅子等の適切な使用方法を個別研修や集団研修にて習得し、内出血や裂傷等、褥瘡予防、身体の負担軽減が行えました。



(3) 職員の教育体制の強化への取り組み

毎月のユニット会議の内部研修や現任研修を行い、中堅職員がメインプレイヤーとしての自覚を高め、チームの中心となる役割であることを意識することができ、ユニット会議等での発言の増加につながる研修となりました。



◎敬愛荘

敬愛荘では、毎日を充実して楽しく過ごし同時に身体機能の維持向上や脳の活性化、さらには施設内でのコミュニケーションの促進などを目的にさまざまなイベント、行事、レクリエーションを行いました。豆まきでは鬼に驚き、桜見では花に癒され、夏祭りの和楽踊りでは花笠を持って、自然に人が輪になって踊りました。季節の行事の餅つきと敬老会には、同法人保育園の子供たちと一緒に楽しめる企画を立案し異世代交流を行い、賑わいのあるひと時を過ごしました。また、外出支援として入居者一人ひとりの要望に応じて、大衆演劇や道の駅のゆず塩ラーメン、なかがわ水遊園、龍門の滝などに行きいつもと違う場所で気分転換をして過ごせました。



節分豆まき



桜見



敬愛荘夏祭り



長寿の祝



餅つき



敬老会



大衆観劇



道の駅のゆず塩ラーメン



なかがわ水遊園



龍門の滝

(エ) 在宅介護事業部

- ・ 地域密着型事業部

◎特別養護老人ホーム てんまりの杜

(1) 自己決定による自己実現に向かい支援を行う。(スマイルプラン)

ご入居者の生活歴や趣味、ご本人、ご家族からの聞き取りを行うなかで、諦めてきたこと、諦めなければならなかったことを調査し、ご本人の意向をもとに自己実現計画（スマイルプラン）の立案及び準備を進めてきました。

昨年度より進めてきた自己実現の計画を、6月23日から24日の1泊2日、入居者3名を対象に茨城県大洗方面へ旅行を実施しました。3名の意向で観光地を周り、海産物を食べ、ホテルに宿泊し、3名の入居者も満足されていました。帰荘後すぐに次に行きたいところを考える方もおり、生活の質、意欲向上が図れました。

[お魚市場]



[ホテル]



[茨城県の方との交流]



(2) ICT・IOT機器活用による生活の質改善

ICT・IOT機器を有効かつ効果的に活用する為、施設内ネット環境の改善を行いました。家庭用のWi-Fiを使用していたため、通信環境が悪く、フリーズしてしまうなどの不具合が発生しておりました。今回、業務用Wi-Fiに変更したことで通信環境が改善され、パソコンや介護ソフトを使用した記録にかかる時間を短縮させることができ、短縮によって創り出した時間を入居者の直接処遇にあてることができるようになりました。

(3) 施設内研修の実施

介護力向上を目標とした、施設内研修を毎月開始いたしました。介護知識や技術研修のほか、ユニットケアや自立支援といった分野の研修を行っております。PDCAサイクルを活用し各ユニットで目標を決定し、1か月間実践、評価、反省を行い翌月に発表といった流れで研修を行い、他のユニットの報告を聞き刺激を受け向上心を高めております。今後も研修を継続し、サービスの質向上を図ってまいります。

令和元年度 よつばカフェ実施報告

月日	場所	内容	デザート	参加人数
4月 12日	駅前ひろば タッチ	猫の置物作り	みつわ工房お菓子	6名
5月 10日	駅前ひろば タッチ	ぬいぐるみ作り	みつわ工房お菓子	7名
6月 14日	駅前ひろば タッチ	カレンダー作り	みつわ工房お菓子	7名
7月 12日	駅前ひろば タッチ	ドライフラワー作り	みつわ工房お菓子	8名
8月 9日	駅前ひろば タッチ	炭酸饅頭作り	手作り炭酸饅頭	8名
9月 13日	駅前ひろば タッチ	押し花ランチョンマ ット作り	カボチャクリーム ドーナッツ	8名
10月 12日	駅前ひろば タッチ	絵手紙作り	シマダヤお菓子	7名
11月 8日	駅前ひろば タッチ	コサージュ作り	シマダヤお菓子	7名
12月 13日	駅前ひろば タッチ	絵馬作り	シマダヤお菓子	8名
1月 10日	駅前ひろば タッチ	正月遊び	シマダヤお菓子	5名
2月 14日	駅前ひろば タッチ	ブローチ作り	シマダヤお菓子	7名

3月 13日	新型コロナウイルス流行の為、中止			名
(合計)				78名

平成28年度 参加者数 59名
平成29年度 参加者数 77名
平成30年度 参加者数 88名
平成31年度 参加者数 78名
〔よつばカフェの風景〕



小規模多機能型だからこそ出来る時間の融通性を活かしご利用者様の体調等に合わせご利用時間を調整したり、通い、泊りサービスの利用がスムーズに出来るように対応して参りました。毎月1回お楽しみ昼食会を開催し、ご利用者様の意見を取り入れながら職員が、施設内で調理を行い四季折々のメニューを盛り込みながら提供して参りました。毎月楽しみにして下さっております。

ボランティアの受け入れ計画、外出の計画を立てて地域の方との交流を行い、外に出かける機会を持てるようにしてきました。利用者様の支援方針やその方が望む生活実現に向けたケアの提供が職員全体でしっかり取り組めるようにさらに内部研修や、意見交換の場を今後もしっかり取り組んでいきたいと思っております。

日常のレクリエーション活動



ココスでのお食事



保育園との交流



南平台観劇鑑賞ドライブ

◎グループホームさらい
認知症対応型共同生活介護事業
(1) 利用満足度の向上

行事年間計画実績

月	行事
4	お花見昼食 保育園合同ジャガイモ植え
5	花見ドライブ 大桶そば祭り
6	保育園合同さつまいも苗植え ユリ鑑賞ドライブ 法人設立記念
7	釜の蓋まんじゅう作り
8	敬愛荘夏祭り
9	敬老会 RUN 伴
10	運動会&BBQ そば打ち実演 りんご狩り
11	秋祭り 保育園合同さつまいも掘り リンゴ狩り 紅葉ドライブ
12	クリスマス会 忘年会 合同餅つき おせち作り
1	初詣ドライブ
2	保育園合同豆まき
3	ジャガイモ・ネギ苗植え

利用者一人ひとり役割を持ち食器拭きや食器洗い、買い物、昼食作り、掃除などを行っております。また野菜作りなどは得意な利用者に行ってもらい、秋にはサツマイモ掘りをみらいの Kaze 保育園の子供たちと一緒にいき笑顔が見られておりました。



(2) 職員意識の向上

令和元年度入職職員研修実績

研修月	参加人数	研修内容
8月	1名	身体拘束適正化委員会
9月	3名	FJT「24シート・・・記録について」
9月	3名	報告連絡相談

10月	2名	感染症とは
10月	1名	OJT「死生観」
10月	2名	吐物処理
11月	1名	緊急時の対応
11月	2名	FJT「ポジショニング・・・褥瘡について」
12月	1名	「パソコンの使い方・・・ワードの使い方」
12月	1名	FJT「離床・臥床」
12月	1名	3ヶ月面談
1月	1名	3ヶ月面談

入職後研修を計画し計画的に研修に参加してもらうことでモチベーションの向上を図りました。3カ月、6カ月と面談を行い入職後の様子を把握しました。悩みや、困った事がある時には早期に対応し離職の防止を図りました。令和元年度入職された職員3名は定着され業務も円滑に行われております。

(3) 地域との関わり

よつばカフェ参加状況

月	デイ	さらい	内容
4		1名	手芸（猫の置物を作る。）
5	0名	1名	ぬいぐるみ作り
6	0名	4名	押し花カレンダー作り
7	2名	3名	ドライフラワー作り
8	1名	1名	まんじゅう作り
9	1名	2名	押し花ランチョンマット作り
10	2名	2名	絵手紙作り
11	1名	2名	コサージュ作り
12	0名	3名	絵馬作り
1	0名	0名	正月遊び(感染症時期の為、利用者不参加)

毎月よつばカフェにお手伝いとして、入居者とデイ利用者が参加し地域の方へコーヒーを出したり一緒に創作活動を楽しまれています。9月にはRUN 伴に2名の利用者が参加し、地域の方達と話をしながら一緒に歩き楽しまれました。ゴミ拾い奉仕活動にも入居者と職員が共に参加しゴミ拾いを行いました。5月より開設した認知症対応型通所介護ではグループホーム入居者が一緒に散

歩や食事作りを行うなど外部との交流の機会が増えました。通所利用者への意欲的な言葉や動きが見られて穏やかに過ごされています。



・ 共用型認知症対応型通所介護事業

グループホーム入居者と通所利用者で毎日、昼食作りや洗い物や野菜作りなど得意な事を活かし交流を図り利用者同士のなじみの関係を築いています。稼働率も少しずつ上がり、安定して毎日利用して頂けるようになってきました。しかし、コロナウイルス感染拡大の影響でグループホーム入居者や地域の交流活動、外出を現在は控えている状況です。



ご利用者の心身の状態や生活に対する意向をより細かくアセスメントし、一人一人の生活ニーズに沿った在宅サービスの提供に努めて参りました。また、各職員がご利用者の生活を支援する専門職として、援助技術の向上と接遇やマナーを身に着けるために法人内外の研修会などに積極的に参加し、ご利用者やご家族、関係機関から信頼される事業所を目指して参りました。

◎敬愛荘デイサービス

(1) 月替わりでフェア、行事を実施

ご利用者にも恒例となって来ました「フェア」は4年目を迎え、インパクト、ライブ感をコンセプトに創意工夫をしながら実施して参りました。また、自宅に持ち帰り飾ることができる作品作りなど楽しめる行事を開催して参りました。

月	提供されたフェア、行事
4月	イタリアンランチフェア 母の日カーネーション作り
5月	バーベキューフェア（屋外にて実施） 手作りおやつ（柏もち）
6月	とちぎグルメフェア（宇都宮餃子やレモン牛乳を提供） 曜日対抗玉入れ合戦
7月	夏野菜フェア 七夕短冊・飾り作り
8月	お好み焼きフェア デイサービス夏祭り、敬愛荘夏祭り参加
9月	秋の行楽弁当フェア 敬老会（職員による踊り披露・手作りストラップのプレゼント）
10月	巻き寿司フェア（てまり寿司など） デイサービス運動会（なごみの利用者様を招待）
11月	芋煮会フェア 手作りおやつ（おやき）
12月	クリスマスフェア（鳥の丸焼き） 餅つき・デイサービス紅白歌合戦・年賀状作り
1月	中華風おせちフェア 福笑い・新春かくし芸大会・手作りおやつ（クレープ）
2月	彩り鍋フェア（トマト鍋・カレー鍋） 手作りおやつ（蒸しパン）
3月	春の天ぷらフェア 手作りおやつ（いちご大福）



芋煮会フェア



クリスマスフェア



年賀状作り

(2) 個別機能訓練の実施

令和元年度も在宅生活における日常動作の維持・向上を目指した個別機能訓練を実施して参りました。

個別機能訓練実施者延べ人数（要支援利用者含む） 4, 493名

(3) 県老協イベントへの参加

栃木県庁にて開催された「介護の日フェスティバル」に参加希望者を募り、26名のご利用者が参加され、外出とイベントを楽しんで参りました。また、とちぎ福祉プラザにて開催された「デイサービス事例発表会」では、当デイサービスセンターの事例発表や他事業所の事例を聴くなど「学び」を実践して参りました。

◎敬愛荘ショートステイ

(1) 安心して過ごせる「生活の場」の提供と「楽しい」を感じる行事の実施。

ご利用者と職員が一緒に出来る行事の計画及び実施により、利用する楽しみを持って頂けるよう、ご利用者との交流を大切に参りました。

月	提供された行事、手作りおやつ
4月	こいのぼり作り
5月	ちぎり絵（紫陽花）
6月	アジサイゼリー、七夕飾り
7月	かき氷作り、敬愛荘ビアガーデン参加
8月	カラオケ大会、ホットケーキ作り、敬愛荘夏祭り参加
9月	秋の味覚オブジェ作り
10月	ホットケーキ作り
11月	クリスマスツリーの飾り付け、カラオケ大会
12月	クリスマス会・クリスマスケーキ作り
1月	かるたとり大会
2月	ひな人形作り
3月	節分、さくらのオブジェ作り



制作活動



節分



ホットケーキ作り

◎敬愛荘在宅介護支援センター

介護保険制度や介護支援に必要な各種制度に関する理解を深めるために、研修会、勉強会への積極的な参加や外部の事業所と連携を図り、ご利用者及びご利用者を支えるご家族の声に耳を傾け、在宅生活を続けて行けるサービス計画の作成を行って参りました。

(オ) 看護部

健康状態の把握と異常の早期発見、早期対応、年に2回（3月、9月）実施する健診は新入居者を除く全員が対象でより精密な検査を行い健康管理に役立っております。要因として眠りスキヤンの導入が大きな力となりました。看取り介護、体調不良の入居者様のリアルタイムの（P.脈、R.呼吸）把握で急変等の対応が機敏に対処できるようになりました。看取り看護の取り組みでは同意書（看取り）確保率が前年度を下回らないという目標を掲げましたが、前年度87.5%⇒今年度83.3%と前年度を下回る結果となりました。永眠された1週間以内にデスカンファレンスを実施し振り返りを行ない次の看取り看護に繋げております。例として看取り介護者の里帰りです。ご家族の方からも元気なうちに自宅に帰れて良かったとの言葉も頂けました。感染症予防、インフルエンザやノロウィルスなど流行時期は感染「ゼロ」を目標として予防策を構築、研修を実施し施設独自の感染レベル表を用い罹患リスクの減少、感染拡大防止に努めました。

(カ) 地域包括支援センターからすやま 実績報告

1. 介護予防ケアマネジメント業務	2, 668件
内委託件数	1, 265件
2. 総合相談	293件
3. 権利擁護事業	4件
4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	51件
5. 認知症の人や家族の支援	29件
6. その他の業務（関係会議参画・出席）	184件

(1) フォーマルなサービスに特化するだけでなく地域の互助協力を得て支援に務めることができた。

- (2) 保健医療との関係機関に加え、今期は支え合いの地域作り情報交換会に参加することにより地域とのつながりを得ることができた。また、障がい者自立支援センターとの連携も増え介護保険への移行等への相談対応を行なった。
- (3) 権利擁護事業の件数は少ないが、必要性に応じ制度の活用を勧める事ができた。虐待案件は地域住民の通報及び警察署警務課からの情報提供により市職員と共に早期に対応を行なった。対象者及び家族も含め継続的支援を行い、各機関との情報共有、医療・福祉サービス提供により悪化予防に努めた。
- (4) 自立支援における個別会議の基盤づくりとともにプランニングの不備や適正化へのアドバイスを行いながら保護型ケアプランから自立支援型ケアプランへの移行開始予定だったが新型コロナ感染拡大への対応により中断しているため未実施となっている。
- (5) 物忘れ相談をフル活用し、認知症疾患の方や家族の支援を行うとともに、継続した機関との情報共有を行い在宅生活が継続できるよう体制を整えながら支援提供を行っている。加えて対象者が独居高齢者の場合には事業所のみでなく警察署、民生委員の協力を得ながら支援を行っている。
- (6) 個別会議は包括みなみなすと協力しながら展開し、地域貢献への提案や地域資源の重要性も含め助言しながら各施設の運営推進会議に参加しました。各施設の特徴を捉え住民への情報発信するためにも活動内容等重視し参加を行なった。

(キ) 地域共生創造事業部

・リエゾンコミュニティラボ

7月1日に「複合型福祉施設」としての事業を開始し、利用者の心身の状態や生活に対する意向、またご家族のニーズを細かくアセスメントし、個々の「自己実現」を目指すための支援を行って参りました。

また、積極的に研修に参加し専門職としての知識にさらに磨きをかけ、他事業所との連携を密に行うことで利用者やご家族が安心して利用できる施設を目指してまいりました。また、地域の方の研修やセミナーの場の提供を積極的に行い、地域とのつながりを築いてまいりました。

◎就労継続支援B型事業 bistro perle de beauté

利用者のニーズを把握し、一人一人に合った支援を行ってきました。ご利用されている方の中には引きこもりなどの問題を抱えておりましたが、現在は少ない日数ではありますが、休まずに通うことができおり、最初は接客などの作業内容に戸惑うこともありましたが訓練を重ね、今では自ら行動できるようになっております。お客様から「運んでくれてありがとう。」や自分で豆を挽いたコーヒーが「おいしい。」などと声を掛けられ、「とても嬉しいです。」と笑顔になるご利用者もいました。少しずつですが「自己実現」に向かっているのだと実感しております。今後も個々の目標が達成出来るよう支援を進めると共に、研修会に積極的に参加し、内部研修等の実施へ繋げていきます。



相談支援事業所、ハローワーク、病院、特別支援学校との連携を図る事で情報共有ができ、実習や体験利用の積極的な受け入れを行って参りました。これからもつながりを築いていきたいと思っております。自立支援協議会相談支援部会、就労支援部会への積極的な参加により、地域で抱えている問題や課題を知ることができました。また、外部研修や病院などで行われている相談会に参加することで新たな発見ができ、視野を広げることができました。

◎ JOYSフィットネスクラブ

・事業内容

(1) 那須烏山市及び近隣の利用者、介護支援事業所等に対し、事業の特色（パワーリハビリテーション）を十分に理解したうえで「自己実現」に向けてのサポートを実施しました。

(2) 定期的にミーティング等を開催し、「自立支援への理解」や「パワーリハビリテーション」に関する事項を情報共有することで、利用者と共に効果を喜び、感じてJOYSフィットネスクラブに来ることが楽しみになるように支援する事ができました。

・令和1年7月1日開設

<サービス提供時間> (7時間以上8時間未満)

1単位 9:00～12:15

2単位 14:00～17:15

<営業日>

月曜日～金曜日（1月1日～1月3日を除く）

・運営形態の変更

利用者のニーズに合わせてサービス提供時間及びサービス内容の変更

<サービス提供時間>

9:00～16:15

※ 利用者ニーズに合わせて上記サービス提供時間内での3時間以上4時間未満のサービスを提供

<追加サービス>

入浴支援

利用実績

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
81	112	134	170	187	223	198	242	270	1,617

《成果報告》

当事業所では科学的根拠に基づいた「パワーリハビリテーション」を実施し、利用者の皆様には効果を感じて頂けているようです。また、「要支援1」の方ではありますがADL改善に伴い介護保険サービス利用から1名の方が「卒業」されました。利用者の方は、那須烏山市をはじめとして、さくら市、高根沢町からも来ていただけるようになってきました。

◎児童発達支援 空と虹のなーさりい

(1) 地域のネットワークチャンネルの構築

那須烏山市健康福祉課、子ども課、市内の保育所や幼稚園、NPO 法人等に連携を図り、にこにこ保育園と併用しての利用児獲得に繋がりました。

また、法人内の保育園との情報の共有により、1名の園児が利用に繋がりました。

(2) 利用児の適切な療育における職員の能力向上

課題（言葉や食）において必要な専門職（ST）の個別指導の実施を行いました。

◎放課後等デイサービス 空と虹のアフタースクール

(1) 地域のネットワークチャンネルの構築

障害児相談支援事業所との連携により、利用児10名の獲得に繋がりました。利用後も相談支援事業所、更には各学校との情報の共有に努め、支援会議を設けて子どもたちへの関わり方についてアドバイスを頂きました。那須烏山市子ども課、すこやか推進室、市内学童クラブ、放課後等デイサービスくれよんクラブとチーム「すまいる」を立ち上げ、10月から11月にかけての就学前説明会に同行し、市内5カ所の小学校で保護者向けに事業所の案内を行いました。

(2) 利用児の適切な療育における職員の能力向上

特性による課題改善のために、専門職（ST）による個別指導を行いました。また、病気（てんかんや喘息）に関する事前勉強会を行い、シュミレーションをして職員の不安解消に努めました。今後は、研修会に参加する、または定期的に事業内での勉強会を開くことで職員の知識向上に努め、より良い療育に努めていきたいと思っております

【活動内容】

8月22日（木）	調理実習 昼食：カレーライスとフルーチェ
9月24日（火）	避難訓練
10月14日（月）	戸外活動（小遠足） なかがわ水遊園と梨狩り
22日（火）	戸外学習 ベイシアにて買い物学習
30日（水）	避難訓練
31日（木）	ハロウィーン仮装大会とお菓子のプレゼント
11月 4日（月）	調理実習（クッキー作り） ボランティアによるフラダンスとハーモニカ演奏

演奏后会食

- 28日(木) リエゾンコミュニティ避難訓練
12月25日(水) クリスマスパティー ダンス、ビンゴゲーム、セレクトケーキ
1月13日(月) 親子活動(ピザ作り) ピザ、サラダ、ミニパフェ、ドリンクバー
2月14日(金) バレンタインデー(チョコ作り)
28日(金) 避難訓練
3月24日(火) お楽しみ会 500円の注文お弁当で会食

【活動の様子】



8月 カレー作り



10月 なかがわ水遊園



11月 ハロウィーン仮装大会



1月 親子でピザ作り

特別養護老人ホーム 敬愛荘

月別施設入居者（定員80床）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ入居者	30年度	2,399	2,413	2,400	2,438	2,430	2,311			
	元年度	2,367	2,453	2,380	2,458	2,468	2,400			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ入居者	30年度	2,414	2,395	2,465	2,477	2,240	2,455	28,837	79.0	98.7%
	元年度	2,480	2,390	2,468	2,438	2,299	2,451	29,052	79.6	98.7%

年間要介護状態区分

区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均介護度
延べ入居者	30年度	0	637	5,643	9,604	12,953	28,837	4.2
	元年度	0	707	5,922	8,519	13,904	29,052	4.2

新規退去・入居者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
30年度退居者		2	1	1	2	2	3			
30年度入居者		0	1	2	2	1	2			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
30年度退居者		2	0	2	0	0	3	18		
30年度入居者		4	1	1	1	0	1	16		

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
元年度退居者		2	2	2	3	3	0			
元年度入居者		4	0	4	3	3	0			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
元年度退居者		0	2	3	4	0	6	27		
元年度入居者		0	2	1	4	2	2	25		

特別養護老人ホーム敬愛荘 短期・通所

月別施設利用者（定員15床） 短期（予防含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	30年度	382	347	402	408	402	374			
	元年度	393	411	386	399	394	381			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	30年度	426	406	427	390	372	423	4,759	13.0	86.9%
	元年度	456	503	474	421	418	431	5,067	13.8	92.2%

月別施設利用者（定員30名） 通所（通所型サービス含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	30年度	658	694	695	718	696	613			
	元年度	572	635	568	592	572	583			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	30年度	641	597	602	542	492	559	7,507	20.5	68.5%
	元年度	564	585	584	581	579	592	7,007	19.1	63.8%

月別施設利用者（定員15名） 生きがいデイサービス

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	30年度	33	38	43	29	34	29			
	元年度	32	42	35	37	28	28			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	30年度	28	33	26	21	19	36	369	6.9	46.0%
	元年度	26	33	26	29	28	18	362	6.9	46.4%

月別居宅介護支援状況 居宅

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
延べ利用者	30年度	104	105	106	105	109	108		
	元年度	108	109	108	110	109	109		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
延べ利用者	30年度	111	110	111	109	109	112	1,299	108.2
	元年度	108	110	109	113	112	106	1,311	109.2

年間要介護度区分 短期

区分		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
延べ利用者	30年度	917	1,065	1,346	913	454
	元年度	1,157	1,264	876	1,055	655
区分		要支援1	要支援2	合計	平均介護度	
延べ利用者	30年度	0	64	4,759	2.7	
	元年度	0	60	5,067	2.7	

年間要介護度区分 通所（通所型サービス含む）

区分		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
延べ利用者	30年度	2,770	1,520	718	772	45
	元年度	2,208	1,240	566	735	217
区分		事業対象	要支援1	要支援2	合計	平均介護度
延べ利用者	30年度	97	415	1,170	7,507	1.5
	元年度	117	399	1,525	7,007	1.6

年間要介護度区分 生きがいデイサービス

区分		事業対象	要支援1	要支援2	合計	平均介護度
延べ利用者	30年度	172	134	63	369	0.4
	元年度	206	92	64	362	0.4

特別養護老人ホーム てんまりの杜

月別施設入居者（定員29床）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ入居者	30年度	864	890	836	888	885	851			
	元年度	844	885	870	899	894	867			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ入居者	30年度	896	870	899	872	792	883	10,426	28.6	98.6%
	元年度	864	850	881	875	834	898	10,461	28.7	99.0%

年間要介護状態区分

月		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
延べ入居者	30年度	365	275	5,237	2,027	2,522	10,426	3.6
	元年度	61	275	5,495	2,382	2,340	10,553	3.6

新規退去・入居者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
元年度退居者		2	0	0	0	1	1			
元年度入居者		3	0	0	0	1	0			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
元年度退居者		1	0	2	1	1	0	9		
元年度入居者		1	0	1	2	0	1	9		

グループホーム さらい

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
入居延べ人数（人）	平成30年度	535	548	515	558	554	527			
入居延べ人数（人）	元年度	532	558	524	551	558	540			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	稼働率
入居延べ人数（人）	平成30年度	555	539	556	545	480	532	6,444	537.0	99.4%
入居延べ人数（人）	元年度	558	531	552	555	522	558	6,539	544.9	99.4%

グループホーム さらい 認知症デイサービス

月別施設利用者（定員6名） 通所（通所型サービス含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	元年度		20	10	25	37	44			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者数	元年度	39	48	35	46	54	51	409	1.2	20.3%

年間要介護度区分 通所（通所型サービス含む）

区分		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
延べ利用者数	元年度	153	192	49	15	0				
区分		事業対象	要支援1	要支援2	合計	平均介護度				
延べ利用者数	元年度	0	0	0	409	1.8				

小規模多機能ホーム なごみ

月別登録者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
登録者数	30年度	19	23	22	21	21	23			
	元年度	24	24	24	24	26	25			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	稼働率
登録者数	30年度	22	23	22	23	22	22	263	21.9	78.9%
	元年度	24	22	24	26	25	23	291	24.3	86.9%

月別宿泊サービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
利用者数	30年度	241	244	224	218	188	188			
	元年度	192	197	238	212	256	250			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
利用者数	30年度	206	232	231	204	202	206	2,584	215.3	
	元年度	281	253	221	248	262	259	2,869	239.1	

月別通いサービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
利用者数	30年度	417	463	457	451	432	423			
	元年度	413	431	469	459	471	461			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
利用者数	30年度	447	457	448	410	391	414	5,210	434.2	
	元年度	479	440	417	425	469	477	5,411	450.9	

月別訪問サービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	30年度	39	43	42	23	22	21		
	元年度	93	84	96	107	70	72		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	30年度	42	40	59	63	77	81	552	46.0
	元年度	65	63	64	61	69	91	935	77.9

みらいのKaze保育園

月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	30年度	10	10	10	10	10	10		
	元年度	7	7	8	9	9	9		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均数
利用者数	30年度	10	10	10	10	10	10	120	10.0
	元年度	9	10	10	10	10	10	108	9.0

一時預かり事業 月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	30年度	3	7	0	3	5	13		
	元年度	4	8	3	3	6	5		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均数
利用者数	30年度	13	8	8	10	14	23	107	8.9
	元年度	10	9	4	5	5	6	68	5.7

JOYSフィットネスクラブ

月別施設利用者（定員19名） 通所（通所型サービス含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	元年度				81	126	134			
	30年度									
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者数	元年度	169	176	190	188	209	233	1,506	5.5	28.8%
	30年度									

年間要介護度区分 通所（通所型サービス含む）

区分		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
延べ利用者数	元年度	511	296	19	77	9
	30年度					
区分		事業対象	要支援1	要支援2	合計	平均介護度
延べ利用者数	元年度	49	286	258	1,506	1.2
	30年度					

bistro perle de beauté

月別施設利用者（定員20名） 通所（通所型サービス含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	元年度				0	8	8			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者数	元年度	16	15	14	20	29	29	139	0.7	3.0%

空と虹のなーさりい

月別施設利用者（定員10名） 通所（通所型サービス含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	元年度				0	2	3			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者数	元年度	5	7	9	8	10	13	57	0.3	2.0%

空と虹のアフタースクール

月別施設利用者（定員10名） 通所（通所型サービス含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	元年度				5	64	79			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者数	元年度	119	110	101	99	103	131	811	3.6	36.0%